

を拾ひ上げること。
ピツク・アップ・チーム 多くのチームの中から最優秀者を選び抜いて組織したチーム。
ピツチング・スタフ 投手團。
ヒット・エンド・ラン 野球で打者と走者がしめし合せ走者は投手の投球モーションと共に走り、打者は必ず打つといふ攻撃法。
ピンチ・ヒッター 野球の危機打者、代打者。
ピンチ・ランナー 野球の危機走者、代走者。
ファイナル 決勝戦。
ファイブ・プレー 美技。

ねばならぬことになつてゐる。これらに貼つた印紙は、貼つた者の實印を捺して使用済みの證とするが、切手は各自が勝手に消印を捺してはならず、必ず郵便局にまかすべきである。
 郵便切手には、五厘、一銭、二銭、三銭、四銭、五銭、六銭、七銭、八銭、十銭、十三銭、十四銭、二十銭、二十五銭、三十銭、五十銭、一圓、五圓、十圓の十九種があり、別に三十五銭の國際返信切手券と五銭の日滿返信切手券があるが、時として種々な記念切手を發行する場合もある。
 収入印刷には、一銭、二銭、三銭、五銭、十銭、二十銭、五十銭、一圓、五圓、十圓、五十圓、百圓の十二種がある。
 これらは共に勝手に製造することを禁じられ、用紙には波形のスキがあり、このスキも自由製造を禁じられてゐる。

專賣特許と新案特許の相違

專賣特許は今迄になかつた全く新しい物又は新しい取拂ひ方に關して有用な發明をした者に對し、その利益を保護するために、利用と使用權を十五年間獨占させるものであるが、新案特許は、實用新案といひ、既に有る物や方法に對し、若干の實用的な新工夫を加へたもので、その利用と使用權は十年間である。專賣特許を得たものは、毎年十圓乃至五十圓づゝ特許料を特許局に納入し、十五年を経過した後も更にその權利を保有したい場合には、毎年百圓乃至二百圓納めねばならぬ。特許の權利はその國內のみに限られ、外國に及ばないから、外國でも眞似されまいと思つたら、その國の特許をも受けねばならぬ。

約束郵便物にはどんな手續が要るか

約束郵便物となし得る物は先づ次の諸條件が必要である。(一)定期刊行物であること、(二)書籍、或は印刷物であること、(三)但し新聞雜誌以外のもので、毎回五百通以上を差出すこと、(四)官公署の事務に關し同一市區町村内に多數差出す文書

ファウル 野球では邪球、競漕では接觸を云ふ。
ファウル・チップ 野球で打つた球がバットを掠つて直接捕手のミットに入つたものを云ふ。
ファンブル 野球で守備者が球を掴み損ふこと。
フィールダー・チョイス 野球の野手選擇、野選。
フィールド 競技場、又はその競技。
フィギュア・スケーティン 氷上に正確に圓型を描いて滑り、姿勢を正しくして優雅を競ふもの。
プール 水泳場。
フェア・プレー 堂々たる

勝負、妙技。
フエザー・ウェイト 體重百二十六ポンド以下の拳闘選手。
フラット 競技のタイムで「十秒フラット」といふやうに、かつきり、丁度の意。
フリー・バッティング 野球の打撃練習。
ペナント 優勝旗。
ホーク 野球の反則投球、跳躍の反則踏切。
ホーム・イン 野球の生還
ホーム・グラウンド 自分等の團體に所屬する運動場
ホーム・プレート 野球の本壘板。
ボツクス 野球の打者の立つ場所。

で、半分以上印刷にした無封の書状たること等である。定期といふのは一ヶ月以内を意味し、それ以上、例へば五十日目毎にか月とか隔月とかいふのはいけない。約束郵便の手續は、所轄郵便局へ行き、その物を見せて郵送料を決定し、定期の數量を示し、約三分の郵送料に相當する保證金を積み、許可が下りたら、約束郵便である事を表面に明記し、切手を貼らず、その月の料金は現金を以て翌月二十日に納付すればよいが、萬一その納付を怠つたり、數量その他の規則に違反すれば直ちに約束郵便たることを取消される。約束郵便は普通の第四種料金の半額である。

汽車から、又は汽車へ電報を打つには

汽車には必ず列車番號があり、時間表を見れば直ぐ判る。だから汽車の中へ電報を打つには、先づ列車番號を書き、箱の等級を書き、若し判つてゐれば箱の番號(何號車か)を書いてから宛名をかけば、適當な驛で手渡してくれる。汽車の中から電報を打つ場合には、車掌又はボーイに頼信紙を貰つて書き、相當額の料金を添へて

つ場所。
マウンド 野球の投手の立つ場所。
マス・ゲーム 團體競技。
メイン・スタンド 競技場の正面觀覽席。
ライン・アップ 陣立て、守備の位置及び選手名。
ラガー ラグビーの競技者
ラグビー 一チーム十五人より成る蹴球競技。
ラスト・インニング 野球の最後の回、即ち第九回目。
ラスト・ヘヴィー 最後の頑張りの意で、決勝點眞近で最上の力を出して争ふを云ふ。
ラツキー・セブン 野球の

車掌かボーイに頼めばよく、電報取扱驛の驛員に直接頼んでもよい。

電報の略記號は何の意味か

別に何かの意味があつて定めたのではなく、便法として略符號を決定しただけである。一般の者には餘り用はないが、覚えておけば、電報が來た時、その意味を知ることが出來、便利をすることもあらう。

- | | | |
|-----------|----------|------------|
| ウナ——至急電報 | マツ——別使電報 | ムナ——留置電報 |
| ララ——時間外電報 | ムニ——照校電報 | タラ——夜間配達電報 |
| ムヨ——同文電報 | チラ——追尾電報 | ナツ——返信料付電報 |
| ヤム——局待電報 | ナチ——再送電報 | ニカ——親展電報 |

郵便局の二等・三等は何處が違ふか

一等郵便局長は奏任官、二等郵便局長は判任官で、二つとも遞信省直轄であるが、三等郵便局長は名譽職で、遞信省の直轄ではなく、郵便事務に精通し、

第七回目。
ラ式蹴球 ラグビーの事。
 ア式蹴球と區別す。
リーグ 聯盟、同盟。
リーディング・ヒッター
 野球の最優秀打者。
リリーフ 野球で投手がノックアウトされた時、別の投手がこれを救援すること。
リレー 交代、繼走。
リンク ゴルフ、拳闘、スケート等の競技場。
ルール 規定、規則。
レガッタ 短艇競争のことであるが、普通のボート・レースと異り、同日若くは連日に亘つて同一コースで行ふ幾回かの競漕會のこと。

一定の資格のあるものに一定の經費を與へて請負で經營せしめるものである。尤もその中にも特定と普通の區別があり、特定は一部分が直轄になつてゐる。この他には一等も三等も大した相違はなく、ただその取扱ひ數の多少によつて等級を分けたものと思つて大差ない。故に一等郵便局は縣廳所在地などの大都會に一つしかなく東京・大阪等には特に各區に一つ位ある。かうして上級の郵便局のある所では取扱事務に自ら分擔が定められてをり、三等郵便局では集配は行はないが、田舎へ行くと三等郵便局でも一等郵便局同様、一切の事務を取扱ふ。

放送局の呼出符號

昭和十三年三月現在の我が國放送局の呼出符號及び波長は左の通りである。

局名	呼出符號	送波電力	周波數	創立年月
東京 中央	JOAK	一五〇〇	五九〇	大正一四・三・二二
東京 第二	JOAK	一五〇〇	八七〇	昭和六・四・六

レコード・ホルダー 競技の最優秀記録保持者。
ローラー・スケート 車滑りのスケート。
ローン・コート 芝生の庭球場。
ロング・ヒット 野球の長打。
ワールド・シリーズ 世界野球爭覇戰。
ワイルド・ピッチ 野球の暴投。
ワインド・アップ 野球の投手が投球前に腕を振つて調子をつけること。
ワンサイド・ゲーム 得點が一方にばかり編した試合のこと。

大 阪	名 古 屋	長 野	新 潟	前 橋	甲 府	松 本	岡 山	京 都	徳 島	鳥 取
中央 第二	中央 第二	野 岡	瀧 岡	橋 岡	府 岡	本 岡	山 岡	都 岡	島 岡	取 岡
JOBK	JOCK	JONK	JOQK	JOBG	JOKG	JOSG	JOKK	JOOK	JOXK	JOLG
一〇〇	一〇〇	〇五	〇五	〇五	〇五	〇五	〇五	〇三	〇五	〇五
六九〇	七三〇	一、〇四〇	九二〇	一、〇〇〇	八〇〇	一、〇四〇	六三〇	一、〇七〇	九八〇	八九〇
大正一四・六・一	大正一四・七・一五	昭和六・三・二一	昭和六・一・一一	昭和八・六・二三	昭和一二・二・二一	昭和一二・二・二四	昭和六・二・一	昭和七・六・二四	昭和八・七・二三	昭和一一・二・一四

郵便料金

通常郵便

- 第一種
 - ▼書状(二十五瓦毎) 四錢
 - ▼無封(百二十五瓦毎) 三錢
- 第二種
 - ▼通常葉書 二錢
 - ▼往復葉書 四錢
 - ▼封緘葉書 四錢
- 第三種
 - ▼定期刊行物 (六十瓦毎) 五厘
 - ▼日刊新聞一日分(百二十五瓦迄、以上六十瓦迄ごとに) 五厘

仙	宮	鹿	長	小	福	熊	高	松	廣	富	濱	福	金
臺	崎	島	崎	倉	岡	本	知	江	島	山	松	井	澤
J O H K	J O M G	J O H G	I O A G	J O S K	J O L K	J O R K	J O T K	J O F K	J O I G	J O D G	J O F G	J O J K	
一 〇 〇	〇 〇 〇	〇 〇 〇	〇 〇 〇	一 〇 〇	〇 〇 〇	一 〇 〇	〇 〇 〇	一 〇 〇	〇 〇 〇	〇 〇 〇	〇 〇 〇	三 〇 〇	
七 七 〇	六 〇 〇	一 〇 五	九 三 〇	七 四 〇	九 一 〇	七 九 〇	七 二 〇	六 七 〇	八 三 〇	一 〇 六	七 八 〇	一 〇 二	六 一 〇
昭和 三・六・一六	昭和 一・二・四・一九	昭和 一・〇・一〇・二六	昭和 一・八・九・二〇	昭和 六・一・二・二一	昭和 五・一・二・六	昭和 三・六・一六	昭和 七・三・二二	昭和 七・三・七	昭和 一・〇・二・二・一三	昭和 一・〇・七・一九	昭和 八・七・一三	昭和 八・七・一三	昭和 五・四・一五

- ▼點字の定期刊行物 (六百瓦迄毎に) 五厘
- 第四種
 - ▼書籍、印刷物、業務用書類、寫眞、書畫、圖、商品見本、博物標本等。 (百二十五瓦迄毎) 三錢
 - ▼約束郵便物 (百二十五瓦迄毎) 一錢五厘
 - ▼點字の書籍、印刷物 (六百瓦迄毎) 五厘
- 第五種
 - ▼農産物種子 (百二十五瓦迄毎) 一錢

市内特別郵便

市内特別郵便物の取扱ひを受ける物は、同一郵便區

JOAKとは何の意味か

秋	山	弘	盛	札	函	旭	帶	釧
田	形	前	岡	幌	館	川	廣	路
J O U K	J O G G	J O R G	J O Q G	J O I K	J O V K	J O C G	J O O G	J O P G
〇 〇 〇	〇 〇 〇	〇 〇 〇	〇 〇 〇	一 〇 〇	〇 〇 〇	〇 〇 〇	〇 〇 〇	〇 〇 〇
六 五 〇	一 〇 八	八 四 〇	八 八 〇	八 一 〇	六 八 〇	七 〇 〇	九 五 〇	一 〇 一
昭和 七・二・二六	昭和 一・一・一三	昭和 一・三・二・二一	昭和 一・三・八・七	昭和 三・六・五	昭和 七・二・六	昭和 八・九・四	昭和 一・一・二・二三	昭和 一・二・二・二六

Jは Japan の頭字ではあるが、これは各國が放送局を設けた時各自呼出番號を決めた時偶然さうなつたので、特にそのつもりで附けたのではないことは、有力な米國が、UでもAでもなく、WやNを貰つたことでも判るだらう。Oも亦同様にな

市内及び特に定むる郵便區市内に發着するもので、同時に百通以上を差出したものに限る。

▼有封同文書狀

(二十五瓦迄毎) 二錢

▼無封同文書狀

(百二十五瓦迄毎) 一錢五厘

右を同時に三千一個以上差出す時は、三千一個分より

▼第三種郵便物

一錢五厘

▼第四種郵便物

一錢五厘

右を同時に三千一個以上差出す時は、三千一個分より

小包郵便

内地一般

▼普通小包

五百瓦まで

十錢

一瓦まで

十四錢

二瓦まで

二十二錢

三瓦まで

三十錢

四瓦まで

三十八錢

五瓦まで

四十六錢

六瓦まで

五十四錢

▼書留小包

五百瓦まで

十五錢

一瓦まで

二十一錢

二瓦まで

三十三錢

三瓦まで

四十五錢

四瓦まで

五十七錢

五瓦まで

六十九錢

六瓦まで

八十一錢

市内

の意味もなく、語呂がよいからで、遞信大臣の命令により、日本放送協會に所屬する放送局は皆JOを頭に附けるべしといふことになつてゐる。その次のAは、東京が第一番に出來たからAを取り、第二番目の大阪がB、第三番目の名古屋がCといふやうに、創立順に従つて附けたもの。最後のKも何の意味もなく、發音しよいからで、長崎がJ O A GであるGも、Kが一と通りすんだのでGとしてみたまでのこととで、JO以下は何と付けても勝手である。

我國の標準時と各國の時差

我が國の標準時は、兵庫縣明石市の附近を通る東經一三五度の子午線上の正午を以て日本標準時としてある。従つて太陽が自分等の眞上へ來た時と、標準時には若干の相違があるが、地方地方で一々時計を變へては不都合が多いから、各國とも一定の標準時を定めてある。我國では最近まで臺灣や澎湖島は一時間おくれた別の標準時を使つてゐたが、今では滿洲も共に皆同じことにした。所で日本標準時計が

正午を指す時、世界各國は何時であるかを表で示さう。

支那南岸標準時	午前十時 (支那南部・佛領印度支那)
東部印度標準時	同 八時半
アフリカ東岸	同 五時半
歐洲東部標準時	同 五時
歐洲中央標準時	同 四時
グリニツチ標準時	同 三時
ブラジル東部	同 零時
米國大西洋岸	午後十一時(前日) (カナダ東岸・ブラジル)
米國東部標準時	同 十時(同) (米國とカナダ東部・ブラジル西部)
米國中央標準時	同 九時(同) (米國とカナダの中央)
米國山岳部標準時	同 八時(同) (カナダと米國の山岳部)
米國太平洋岸標準時	同 七時(同) (米國とカナダ西部海岸)
ハワイ群島	同 四時半(同)

▼普通小包	六
六疋まで	六
▼書留小包	十二
六疋まで	十二
▼内地と植民地間	
▼普通小包	二十七
五百瓦まで	二十七
一疋まで	三十四
二疋まで	四十七
三疋まで	六十
四疋まで	七十三
五疋まで	七十九
六疋まで	八十五
▼書留小包	四十二
五百瓦まで	四十二
一疋まで	四十九
二疋まで	六十二
三疋まで	七十五

併し純學術的に時間を云ふ場合には、このやうに各國が區々では困るから、グリニッチ天文臺を通る零度の子午線上の時間を萬國標準時としてゐる。

社會常識一斑

新議事堂の豪華さ

白聖の大殿堂たる新議事堂は東京市麴町區永田町の一丁目から二丁目にかけて、海抜八十八尺の高臺に聳え、建物だけの面積三千七百五十坪、延面積（何階かの）一萬五千七百八十坪で、中央に二百十六尺の高塔を頂き、左右に貴族院と衆議院の兩翼を張り、その正面の長さ六百八十一尺、側面の長さ二百九十二尺五寸である。中央部は地階のほか大體四階建てで、それに八階の高塔あり、兩翼は地下室を除き大體三階建てであり、これ等を合して主なる室三百九十、小さいものを合すれば四百餘室ある。基礎はベデスタル式コンクリートの杭を深く砂利層まで打ち込み、その上

四疋まで	八十八
五疋まで	九十四
六疋まで	一
▼内地と滿洲國	
一疋まで	四十五
二疋まで	六十
三疋まで	七十五
四疋まで	九十
五疋まで	一圓五
六疋まで	一圓二十
七疋まで	一圓卅五
八疋まで	一圓五十
九疋まで	一圓六十五
十疋まで	一圓八十
▼内地と中華民國	
一疋まで	四十五
二疋まで	六十
四疋まで	九十

へ鐵筋コンクリートの礎盤を置き、鐵筋コンクリート建てに花崗石を以て外面を鋪装してある。鐵筋は全部八幡製鐵所製、花崗岩は、腰の部分が山口縣黒髮島産、上部壁面が廣島縣倉橋島産である。正面車寄の四本の大圓柱は高さ四十九尺、直徑六尺、その上の鳳凰に唐草を配した飾は、高さ八尺、幅四十八尺で、石材七箇を繼いだもの。内部は壁と云はず柱と云はず廊下と云はず殆んど大理石が敷き詰めてあるが、その種類は三十七。中央廣間と便殿前廣間は色彩の異つた大理石の粒を以て美事な模様を描いてあるが、その六分角の粒の使用数は實に百六十萬箇だといふ。議場は兩院とも二百二十五坪で、議席は貴族院四百六十席、衆議院四百六十六席であるが、兩院とも最大限六百三十五席にまで増設出来るやうになつてゐる。内部の仕上は、便殿や皇族室等の造作は檜の本漆塗仕上で、日本塗料の粹をこらし、便殿の煖爐上の丸柱と各所の彫刻はみな乾漆の方法で製作し、入口扉は、螺鈿入蒔繪の目もまばゆいものである。正面帝室玄關のブロンズ製大扉は、東京美術學校の製作にかかり、幅三尺六寸、高さ十三尺、重量三百貫、美術的には價值高いものである。

六疋まで 一圓二十錢
 八疋まで 一圓五十錢
 十疋まで 一圓八十錢

特殊取扱料金

- ▼書留料金 十 錢
- ▼留置通知 三 錢
- ▼價格表記 金銭は、書留料の外に表記金額十圓まで毎に 十 錢
- ▼物品は、書留料の外に表記金額二十圓まで毎に 五 錢
- ▼別配達料 一般料金の外に陸上八斤以内 三十 錢
八斤以上四斤までごとに 二十五 錢

内部が、防音、防火、防毒等の設備に間然する所のないのは云ふまでもなく、暖房、冷房装置も完全し、議場の照明の如きは、外の明るさの變化に従つて四段に光度を變化させるやう装置され、萬一停電の時も直ちに蓄電池に接続し得るやうになつてゐる。なほ何かの場合には、議事堂の周圍に設備した千ワットの投光器二十四箇を高塔に集中させ、闇の空に白聖の偉容を浮立たせることが出来る。なほ新議事堂の自慢は、氣管装置によつて議場にある新聞記者の原稿をドシ／＼室外へ送り出せること、開會、討論、大臣演説等十二種の文字が書記官の卸一つで院内九十の室に表示されること等であるが、それ以上の自慢は、その建築用材の大部分が國産品であり、然も全國各府縣から漏れなく集めたことである。この建築は大正七年六月から事務を開始し、懸賞募集によつて圖案を得、大正九年一月三十日に地鎮祭を舉行し、同年六月二十六日に歛入式を行ひ、昭和二年四月七日上棟式舉行、十一年秋漸く一切の工事と設備を終り、十一月三十日落成祝賀會を催し、第七十議會から初めてこれを使用することとなつた。その總工費も初めは十ヶ年計畫の七百五十萬圓の

船料は別に實費額を受取人より徴收す

- ▼配達證明 一般料金の外に 四 錢
郵便物差出後半年以内に請求する時は 八 錢
- ▼引受時刻證明 一般料金の外に 五 錢
- ▼内容證明 一般料金の外に謄本一枚のものは 十 錢
二枚以上は一枚を増すごとに 四 錢
但し同時に二個以上同文のものを差出す時は内一個を除き他は前記料金の半額
内容検査の證明料は謄本

豫算であつたが、漸次増加し、十九ヶ年の日子と、約二千五百八十萬圓の工費とを費した。

航研機の性能

航研機は、東京帝國大學航空研究所が所内を總動員し、我國の航空學理の蘊蓄を傾けて作つた純國産の長距離試作機であり、發動機・翼・胴體その他全ての部門に亘り、昭和八年から斯界の權威に託して設計し、翌九年十月、東京瓦斯電氣工業會社で機體の着工にかかり、昭和十二年三月漸く完成した。その間四年の日子と、七十餘萬圓の工費と、延人員約六萬人の努力とを費し、材料は全部國産品によつた所に大きな意義がある。全長十五米（約五十尺）兩翼の全幅二十八米（約九十二尺）翼の面積五十二疊敷、翼中に十四箇のガソリンタンクを持ち、約七千リットルのガソリンを入れることが出来る。發動機は川崎造船所の製作にかかるBMW八型六百馬力に改良を加へ、特に長時間の航續に堪へ得るやうにした。自重四噸、全備重量

一通毎に前記料金の半額
膳本閲覧料一回 五錢

▼代金引換
一般料金の外に一口につき 五錢

外に取立金送料を要す

集金郵便
集金委託料一口に付 六錢

證券
證券 十五錢

集金書留置通知 三錢

外に取立済の金額に對し
集金送達料を要す

▼速達料
京濱地方・京阪神地方・名古屋地方・廣島地方・北九州地方・札幌地方
以上地方内は 八錢

九噸半、最大速度二百八十料、巡航速度百七十料乃至二百四十料、航続力一萬六千料で、若し性能通りに飛ぶならば、北太平洋の大圏コースを行けば、東京から米大陸を横斷し、紐育を越して大西洋の眞中まで行け、西廻りをすれば、印度等の南方コースでロンドンを超して大西洋に出られる。數度の試験飛行に僅かの故障のため失敗したが、昭和十三年五月十三日午前四時五十五分、木更津を出發し、銚子・太田・平塚間の四角コースの周回飛行を開始し、十五日午後七時十八分二十九周を完了して木更津に着陸し、総距離一萬・千六百六十七料二八、飛行時間六十二時間二十三分、一萬料までのスピードは時速百八十六料といふ世界的大記録を残した。從來の記録は、ソ聯のANT二五型機が一萬二千四百一十一料の記録を持つてゐると云はれてゐるが公認されてをらず、周回の國際公認記録としては一九三二年（昭和七年）三月フランスのボツスツイロ、ロツシ兩氏がブレリオ一〇型單葉機で作つた一萬六百一料四八（七十六時間四十三分）である。この大記録を作つた航研機の操縦者は陸軍の名パイロット藤田雄藏少佐であつた。

コンドル機の性能

昭和十三年十一月二十八日午後十一時五十五分（日本時間）ベルリンのテンベルホーフ飛行場から我が立川飛行場まで一萬四千六百料を四十六時間二十分五十二秒で飛翔し、驚異的世界新記録を作つたコンドル機は、ナチス・ドイツが世界に誇る優秀機で、同年八月十日、ベルリン紐育間六千三百料を二十四時間五十分の新記録で飛び、歸路も悠々と飛んで歸つた輝かしい記録を持つてゐる。フォッチ・ウルフ會社製FW二〇〇型の低翼單葉二十六人乗りの旅客機で、兩翼を張つた全幅三十三米（百九十尺）、全長二十四米（八十尺）で、我が航研機と較べて、全幅に於て五米、全長に於て九米も大きい。發動機は八百七十馬力空冷式のもの四つ持ち、内二つに故障が生じて飛行し得る。全備重量十六噸半餘、搭載量六噸、平均速度時速三百料乃至三百五十料、航続距離二千三百四十料であるが、旅客席に補助タンクを設けてガソリンを満載すれば五千乃至六千料を航続し得る。又二箇の發動機だ

全國への速達料金は、距離と配達の便不便により料金を異にす。

▼私書函使用料
半年間 一圓—十五圓
但し局により異にす

航空郵便

内地相互間

▼通常葉書 八錢

▼往復葉書 廿五錢

▼封緘葉書 廿五錢

▼書狀（二十五瓦） 十五錢

▼無封（卅五瓦） 十五錢

▼第三種（六十瓦） 廿五錢

▼第四種（六十瓦） 廿五錢

▼第五種（七十五瓦） 廿五錢

▼普通小包

五百瓦迄	一圓十錢
一疋まで	一圓十四錢
一疋半迄	一圓七二錢
二疋まで	二圓二二錢
▼書留小包	
五百瓦迄	一圓十五錢
一疋まで	一圓二一錢
一疋半迄	一圓八三錢
二疋まで	二圓三三錢
▼内地と植民地間	
▼通常葉書	十五錢
▼往復葉書	十五錢
▼封緘葉書	三十錢
▼書 狀(二十五瓦)	三十錢
▼無 封(卅五瓦)	三十錢
▼第三種	五十錢
▼第四種	五十錢
▼第五種	五十錢

けでも時速二百五十料は出し得る。

世界的大型飛行機は何か

ダグラスDC型陸上機は、晝は客席五十二を留意してあるが、夜は椅子が忽ち寢臺に變つて三十人の客を眠らせる事が出来、ダブルベッドの用意もある。五千米、六千米の高空を飛ぶので、防寒設置も完備し、發動機四基を備へ、時速三九〇料を出す。

ボーイング三一四型水上機は、アトランチック・クリツパーと名附けられ、大西洋横断用旅客機として造られた世界最大の飛行艇である。七十二人の旅客と、八人の乗組員とを乗せ、四發動機で、時速三二〇料を出す。

ボーイング三〇七型陸上機は、晝は三十二人分の椅子を、夜は十八人分の寢臺と八人の寢用椅子とを留意してゐる。この特長は成層圏内を飛ぶに適したやうに設計せられ、普通六千米から一萬米上空を飛び、普通には時速三二二料だか、六千

▼普通小包	二圓二七錢
五百瓦迄	二圓三四錢
一疋まで	三圓四七錢
一疋半迄	四圓四七錢
二疋まで	四圓四七錢
▼書留小包	
五百瓦迄	二圓四二錢
一疋まで	二圓四九錢
一疋半迄	三圓六二錢
二疋まで	四圓六二錢
▼内地と滿洲國間	
▼通常葉書	十八錢
▼往復葉書	十八錢
▼封緘葉書	卅五錢
▼書 狀(二十五瓦)	卅五錢
▼無 封(卅五瓦)	卅五錢
▼第三種	七十五錢
▼第四種	七十五錢

五百米以上になると四三〇料の高速を出し得る。

セバスキー・スーパー・クリツパー水上機は、旅客百二十名、乗組員十六名を乗せて最大時速四八三料といふ素晴らしいもの、大西洋横断旅客機として製作中であるが、これを改造すれば、九〇八疋の爆弾十個と、大型魚雷とモーターボートとを積んで、一萬九千三百八料を航続し得るといふ恐るべきものである。

嘘を見分ける器械

人が嘘を吐いてゐるかどうかを科學的に見分けられたら、どんなに便利だらう、とは世界中の警察官が考へてゐる事である。そこで今から四十年ほど前、レーマンが呼吸の變化によつて嘘を見分ける方法、即ち呼吸の強さの變化を測る器械を發明した。併し餘り完全ではなかつたので、約十年の後、米國のキーラーが電流計とレーマン式呼吸検査器とを一緒にしたものを作り、罪人千五百人に試みて千二百七十人、即ち八割五分までその嘘を見破つた。それによると人體に弱い電流を通し、

- ▼第五種 七十五錢
- ▼普通小包
 - 一 一疋迄 三圓四五錢
 - 一 一疋半迄 五圓十錢
 - 二 二疋まで 六圓六十錢

外國郵便

通常郵便物

- ▼書狀 二十瓦迄 二十錢
- 以上は二十瓦を増すと 十二錢
- ▼通常葉書 十錢
- ▼往復葉書 二十錢
- ▼印刷物(五十瓦毎) 四錢
- ▼商品見本(百瓦毎) 八錢
- 以上は五十瓦を増すと 四錢
- ▼小形包装物

非常に敏感な電流計を接続し、電流の強さを測定するのであるが、頭腦を挫つて嘘を言つたりすると電氣の通りがよくなり、電流計がピンと廻るから直ぐ分る。これにヒントを得て、早稻田大學の内田勇三郎教授が作った嘘検出器は、光が電流計の鏡に映り、嘘を吐くほど光の點が速く動く仕掛で、完全ではないが相當効果があるといはれてゐる。

地圖は眞に土地の形を寫してゐるか

地圖には種々な書き方があり、なるべく實際に近い形を紙面に表はさうと努力してゐるが、それは到底不可能なことである。何故なら、地球は球形をなしてゐるものであり、土地はその球面上に描かれた曲線であるからである。球面をそのまま平面上に展開することは出来ない。況んやそれを地圖のやうに一枚の四邊形なり圓形になりすることは無理な相談である。そこで地圖の土地の形は、地圖の書き方によつて一々變つて來る。現在廣く用ひられてゐる代表的圖法には、直射圖法、平射圖法、

- 二五〇瓦迄 四十錢
- 以上は五十瓦を増すと 八錢
- ▼業務用書類 二十錢
- 二五〇瓦迄 二十錢
- 以上は五十瓦を増すと 四錢
- ▼小包郵便(北米及屬領地)
 - 四五〇瓦迄 二四錢
 - 九〇〇〃 四八錢
 - 一三五〇〃 七二錢
 - 一八〇〇〃 九六錢
 - 二二五〇〃 一二〇圓
 - 二七〇〇〃 一四四圓
 - 三一五〇〃 一六八圓
 - 三六〇〇〃 一九二圓
 - 四〇五〇〃 二一六圓
 - 四五〇〇〃 二四〇圓

等距離圖法、メトカトル圖法の四種がある。直射圖法といふのは、球を一つの鏡に映し、鏡中の圖をそのまま描いたもので、従つて球の中央は眞實に近いが、端へ行くに従つて小さくなつて來る。平射圖法は丁度直射圖法の反對に、端の方が大きく、中央が小さくなつてゐる。等距離圖法は前二者の缺點を補ふため經線を等距離にとつたもので、球狀圖法ともいひ面積の比較にはこれが最も適當である。メトカトル圖法は、地球を圓筒形の紙で包み、地形を寫してから、これを擴げたものである。つて、中央部分はいが、上下兩端へ行くほど伸びてしまふ。このやうにして何の地圖にも缺點はあるが、用途によつてそれらに必要があつて考案されたものであり、殊にメトカトル圖法は方角を知るのに便利であるから、航海にはなくてはならぬものであり、航海圖法といはれてゐる位である。このほかに蝶形圖法などいふ變つたものもあるが、あまり用ひられない。

米國のU・S・Aは何の意味か

四九五〇〃 二・六四圓
(書留料十錢増し)

▼特殊郵便物

▼書留料

▼配達證明

▼差出後の請求は

▼別配達料

▼價格表記料

▼三百フラン迄

▼代金引換料

内外電信

▼普通電報

▼内地間十五字迄

▼市内十五字迄

▼五字増す毎に

▼歐文五語

米國の事をU・S・Aと書くのは United States of America の頭字を取つたもので、ユナツテッドは聯合・合併の意、ステートは國家・國務の意。だから全體で「アメリカ合衆國」となる。米國は四十八の州が合併して一國を成してをり、各州には各州政府があつて各州獨特の法律を持ち、その立法院として州議會を持つてゐるから、國家の中央政府もこれに干渉することが出来ない。そのためにカリフォルニア州等が日本人排斥の法律を作つても、中央政府はこれをどうすることも出来ない。中央政府はたゞ外交・軍事・財政・交通等の共通的なことを掌つてゐるだけである。

ソ聯とは何の意味か

ソ聯を詳しく本式に云ふと、社會主義ソヴェート共和國聯邦といふヤコシイ名で、他の國家のやうに地名的な國名はない。ソヴェートとは評議會とか委員會とか云ふ意味で、郷ソヴェート、村ソヴェート、郡ソヴェート、州ソヴェート、國ソヴェート、聯邦ソヴェートといふ風にピラミット型に上位に昇り、下位ソヴェートから上位ソヴェートに委員を送つて政治を議する組織だから、ソ聯の意味は「社會主義に據る評議會を以て組織された共和政治を布く國の幾つかが聯合した國家」といふことになる。以前にはロシア帝國であつたが、一九一七年三月に帝政ロシアは崩壊し、十一月にレーニン等の手によつて今日のソヴェート政體が成立し、社會主義ソヴェート・ロシア共和國、社會主義ソヴェート・カザック共和國、社會主義ソヴェート・ウクライナ共和國……等といふ共和國が十一集まつて出来てゐる。シベリア地方はロシア共和國に包含されてをり、それが更に幾つかの自治共和國に分けられてゐる。猶、外蒙古はソ聯ではなく、中華民國に屬するが、ドヴァ人民共和國、蒙古人民共和國などいふものを作り、ソヴェート組織とし、ソ聯の指導下にあるソ聯國同様となつてゐる。

▼特殊取扱料

▼時間外一通

▼至急報

▼返信料前納 必要額前納

▼照校料 普通料金の外に

更に四分の一加算

▼受信報知料 原信種別に

よる最低電報料金

▼同文電報

▼原信の外一通毎

▼受取證書料 一通

▼電報託送料 一通

▼閱覽料 一通

▼船船配達 一通

それを超過の時は實費

▼外國 歐文一通

中華民國まで

S・O・Sの信號

五十圓まで	二十五錢
百圓まで	三十五錢
百五十圓まで	四十五錢
二百圓まで	五十五錢
二百五十圓迄	六十五錢
三百圓まで	七十五錢
電報爲替(五百圓まで)	
二〇圓まで	五〇錢
五〇圓	七〇錢
一〇〇圓	九〇錢
一五〇圓	一・一〇圓
二〇〇圓	一・三〇圓
二五〇圓	一・五〇圓
三〇〇圓	一・七〇圓
三五〇圓	一・九〇圓
四〇〇圓	二・一〇圓
四五〇圓	二・三〇圓
五〇〇圓	二・五〇圓

磁石のSとNは何の記號か

Sは South 即ち南で、Nは North 即ち北であり、これは磁石の容器を勝手に廻せば方角は滅茶苦茶だが、針は常に南北を指してをり、針の一方は藍色に染めてあり、それが常に北を指してゐるから、藍色の針とNとを合せば正しい方角が判る。

磁石は何故南北をさすか

馬蹄形の磁石の尖端に鐵片を近づけると強い力で吸ひ寄せる。所が、どんな強力な磁石でも、圓く曲つた方では何も吸付けない。これは磁力は特に兩端に於て強く働く性質があるからである。この先端を磁極と云つてゐる。所で地球は全體が一つの偉大な磁石をなしてをり、磁極が南北兩極にある。そのために常に鐵片をその方向に吸引する力がある。そこで、磁石に感じ易い磁鐵鑛又は黄鐵鑛で針を作り、中心を軽く支へて自由に動けるやうにしてやると、針は常に磁力の平行線上に位置

特定電報爲替

(内地と植民地・滿洲國間。但し滿鮮間は別法)

二〇圓まで	七〇錢
五〇圓	一・〇〇圓
一〇〇圓	一・三〇圓
一五〇圓	一・六〇圓
二〇〇圓	一・九〇圓
二五〇圓	二・二〇圓
三〇〇圓	二・五〇圓
三五〇圓	二・八〇圓
四〇〇圓	三・一〇圓
四五〇圓	三・四〇圓
五〇〇圓	三・七〇圓

外國郵便爲替

爲替料金は相手國により異なるから、郵便局につき問合せるがよい。

し、常に南北を指すのである。但し磁石の指す南北は正確ではなく、若干の狂ひがあり、又、南極や北極へ近づくと、磁石は直立して役に立たなくなる。所で地球は南北よりも東西の方へより多く尖つてゐる球状であるのに、磁極が都合よく南北にあるといふことは甚だ理に反するやうであり、何故さうであるかは判然しないが、多分自轉運動が密接な關係を持つてゐるだらうと考へられてゐる。

エレベーターのBとRは何の記號か

Bは Basement の頭文字で地下室の意(地階の意味もあるが、日本では一般に一階を地階といふので Basement は地下室の意味に使ひ、地階をIとする)であり、Rは Roof 即ち屋上の頭文字である。

鉛筆のHとBは何の記號か

Hは Hard 即ち硬いこと、Bは Black 即ち黒いといふ意味である。だからHB

鐵道料金

旅客運賃

普通旅客運賃(一糶に付)
 八〇糶以下 一錢五厘六毛
 八〇糶以上 一錢三厘一毛
 一六〇糶以上 一錢六毛
 三二〇糶以上 八厘七毛
 四八〇糶以上 七厘五毛
 六四〇糶以上 六厘九毛
 八〇〇糶以上 六厘三毛
 右の計算が一糶未滿の端數は一糶とし、一錢未滿の端數は一錢とす。但し右は三等の運賃で、二等はこの二倍、一等は三倍となり、

なら硬くて黒い鉛筆だといふことになるのであるが、實はさうでなく、Hは數の多いほど硬さが増すが、Bは數が増しても黒さが増すわけではなく、軟かさが増すことになつてゐる。だからHは針金のやうに硬く、4Bは消炭のやうに軟かいのである。

船脚の赤いのは何故か

汽船は鐵で出来てゐるから錆止めのために塗料を塗る。所で船脚は常に水中にあるから錆び易い上に蠟その他の貝殻が附着して速力を鈍らせるので、それ等を防ぐための有効な塗料をといふので工夫されたのが赤い塗料である。赤や青は貝類が嫌ふ。青は殊によいのであるが、非常に高價なので、大抵の汽船は安價な赤ペンキを塗つてゐるのである。

汽船の行く先は何で判るか

沖を航行する汽船が今何處へ向かつて進んでゐるかを知るには、その旗を見ればよい。汽船には必ず二本のマストの上と船尾の上に旗を立ててゐるが、船尾には自國の國旗を、後方マストには自分の會社旗を、前方マストには行先の國旗を掲げる規定になつてゐるから、前方マストの上を見れば直ぐ判るわけである。

皇紀と西曆紀元の基礎は何か

日本の紀元は、神武天皇が橿原の宮に於て天皇の御位にお即き遊ばされた日を以て紀元とした。その日を記念するため、今日では毎年二月十一日に紀元節を行ふがそれは二月十一日ではなく、一月一日であるが、當時の舊曆による一月一日は今日の太陽曆になほせば二月十一日となるからである。西曆紀元はキリスト降誕の年を以て元年としてゐる。但しこれは最近の研究に於ては甚だ怪しくなり、キリスト降誕の年は紀元前九年乃至四年の間で、多分七年前のことだらうとなつた。けれども今更これを變更することも出来ないもので、そのままになつてゐるが、萬一キリスト

滿六歳までは無料、六歳以上十二歳までは半額。
 運賃計算法は、例へば東京下關間は一〇九七・一糶であるが、八百糶以上だからといつて、六厘三毛にいきなり一〇九八糶を掛けるのではなく、左のやうにして算出する。

運賃	1.2480
料率	1.0480
程毛	1.6967
156 × 80 =	1.3920
131 × 80 =	1.2000
106 × 160 =	1.1040
87 × 160 =	1.8774
75 × 160 =	
69 × 160 =	
63 × 298 =	
+	1098 = 9.5654

即ち九圓五十七錢となる。

定期乗車券

これには普通、學生、職工の三種があり、普通と學生は一ヶ月、三ヶ月、半年一年の四種の期限があるが職工は一ヶ月、三ヶ月の二種のみである。又、普通には二等三等の區別があるが他は三等のみ。定期券は記名の本人が記入の一定區間だけに常時乗用出来るので一日に何回乗降してもかまはない。但し學生、職工は身分證明を要する。運賃は一ヶ月定期券で、普通運賃の片道分を三十倍したよりも少し高く、期間と區間の長くなるほど割合

降誕の年が間違つてゐるのなら全ての歴史を書きかへるべしといふ人もあり、大問題になつてゐる。それはともあれ、西曆紀元と皇紀とでは六百六十年相違し、我が歴史はそれだけ古い。

日本人は一年間に煙草を幾ら喫ふか

年によつて多少の相違はあるが、今昭和十二年度の專賣局の調査によると、次のやうである。

口付煙草	七千四百三萬圓	刻煙草	五千五百四十七萬圓
兩切煙草	二億二千二百六十五萬圓	葉卷其他	十一萬四千圓
合計	三億五千二百二十七萬圓		
この中主なものを種類別にすると左のやうである。		なでしこ	二三七七・九萬圓
バット	一六四二一萬圓	はぎ	二三五九・八萬圓
朝日	二九六八・九萬圓		

が安くなる。學生は更に普通よりも安くなり、職工は普通の約半額である。

回数乗車券

回数券には記名と無記名があり、二等三等の區別がある。共に十六回分を以て一冊としてゐる。記名は本人又は本人と同行する者四人以内の限り使用することが出来、無記名は誰が使用してもよい。又大人用一枚で小兒二人が、小兒用二枚で大人一人が乗ることも出来る。運賃は普通よりも若干割引されてゐる。

旅行券

驛で發賣するもので、額

曉	二二二二・五萬圓	光	一二八九・一萬圓
響	一五二二・四萬圓	錦	一四一五・六萬圓
チエリー	一五七三・一萬圓	敷島	六九七・六萬圓

その他外國煙草を昭和十年には百五十萬圓ほど煙にしてゐる。これ等を國民一人當りにすると一年間に約五圓を喫み、專賣局の純利益金として歳入の中へ加へられるものが二億三千五百萬圓中煙草の益金が約二億圓だから、我々は一人當り約二圓八十八錢の煙草税を納めてゐるのと同様である。

活字の大きさ

活字にはポイント活字と普通の活字とがあり、普通の活字は初號から八號まで九種類あり、初號は五分角、一號は三分角、二號は二分五厘角で、一號以下は三ツ目の倍数の大きさを持つてゐる。

初號……二號の四倍

四號……新七號の四倍

面相當の金錢同様に乗車券
急行券等と引換へることが
出来る。左の四種がある。

- 一圓 (廿錢券 五枚)
- 三圓 (〃 十五枚)
- 五圓 (〃 二十五枚)
- 十圓 (〃 五十枚)

右の有效期間は一年。
遊覽券

國內各地を回遊する者の
ためにジャパン・ツリス
ト・ビュローで發行する
もので、鐵道券、汽船券、
自動車券、宿泊券、食事券
等がついてゐて便利且つ低
廉である。鐵道運賃は、全
區間を通算した料數で計算
せられる。遊覽でなく、普

- 一號……四號の四倍
 - 二號……五號の四倍
 - 三號……六號の四倍
 - 五號……七號の四倍
 - 六號……八號の四倍
 - ルビ……七號
- これらを實物で示すと左のやうである。

愛之事業社出版

ポイント活字は右と違ひ、呼稱數字の大きいほど活字も大きく、數字そのものが活字の一邊の寸法を現はしてゐる。即ち一ポイントは七十二分の一時で、八ポイントなら七十二分の八時、九ポイントなら七十二分の九時である。最も廣く用ひられるのは九ポイントであり、本書の本欄本文は八ポイント、小見出しは五號ゴチツク

通の旅行に用ひてもよい。
普通旅行の場合、一定區間
の往復は區間料金の二倍に
なるが、還狀的に乗れば料
程が長くなるから、往復よ
りも安くなる場合がある。
例へば東京仙臺間を往復す
るのに、東北線のみを用ひ
れば、片道料程三四八・五
料で四圓九十二錢、往復九
圓八十四錢となるが、復路
に常盤線を廻れば、上野岩
沼間の東北線三三〇・九料、
岩沼上野間の常盤線三四
五・三料で、合計六四六・二
料となり、その運賃七圓四
錢、岩沼仙臺間往復二十六
錢、合計七圓三十錢となり

上欄は六號ゴチツクと六號活字である。これを實物大で示せば左の通りである。

愛之事業社出版

活字の書體

活字には和文・歐文等種々あるが、和文の書體では、明朝・清朝・宋朝・ゴチツク・アンチツク等があり、一般には明朝書體が最も多く用ひられてゐる。

- 明 朝……愛之事業社
- 清 朝……愛之事業社

二圓五十四錢の利益となるやうなものである。

團體割引

二十五人以上一團となつて旅行する時は團體割引をする。これには、普通、特別、觀光の三種がある。普通は一般乗客で、二等三等があり、特別は學生、生徒、工場員、諸官署、會社員等の引率者のあるもので三等のみに限る。なほ百人以下は一人、百人以上は百人を増すごとに一人の監督者を無料取扱とする。なほ二十五人に達しなくてもそれだけの運賃を支拂へば團體としての取扱をする。但し

宋 朝……愛 之 事 業 社

ゴチック……アイノジゲフシヤ

アンチック……アイノジゲフシヤ

歐文には各國語によつて文字そのものが異り、これをあげればキリがないが、一般に使はれるのはローマ字のローマ字書體とイタリックであり、ドイツ文字、ギリシヤ文字等も時々使はれる。數字は大抵ローマ數字であるが、中にはオールルド書體といつて、少し形の異つたものがある。

ローマ書體大文字	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
ローマ書體……	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m
	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z

それには一定の期間によつて割引率を異にする。即ち一年を二期に分ち、一月一日より十日まで、三月十一日より六月十日まで、七月十一日より十二月末日までを第一期として、他を第二期とし、第一期よりも割引率が大い。即ち左のやうである。

▼普通團體

三等第一期	一	割
二十五人以上	一	割五分
五十人以上	二	割
百人以上	二	割五分
二百人以上	三	割
四百人以上		
三等第二期		

イタリック書體…	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m
	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z

ギリシヤ大文字…	A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M
(小文字)	α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ
	N	E	O	Π	P	Σ	T	Υ	Φ	X	Ψ	Ω
	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω

ドイツ文字……	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m
	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z
ローマ數字……	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0			
オールルド數字……	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0			

二十五人以上	二割五分
五十人以上	二割五分
百人以上	三割五分
二百人以上	三割五分
四百人以上	四割
二等第一期	二割五分
二十五人以上	二割五分
五十人以上	二割五分
百人以上	三割五分
二百人以上	三割五分
四百人以上	四割
二等第二期	三割五分
二十五人以上	三割五分
五十人以上	三割五分
百人以上	四割五分
二百人以上	四割五分
四百人以上	五割
特別團體	

綿糸の番手とは何か

綿糸の太さを現はす言葉で、記號ではSを書く。これには英國式とフランス式とがあるが、我國では英國式を採用してゐる。即ち綿糸一総（長さ八百四十碼）の目方が一封度（百二十匁）あるものを一番手と定め、同じ一封度の目方で二総あるものを二番手、三総あるものを三番手といひ、従つて番手数が多くなるほど糸が細くなり、一封度の長さがその倍數だけ長くなる。今日では糸がだん／＼細くなり、何百番手といふものさへ出来るやうになつた。所で番手は一から順次に一つづつ追つて進むのではなく、一番手から二十番手までは一つづつ追ふが、二十番手以上五十番手までは一つ飛び、即ち二十二、二十四といふやうに偶數で進み、五十番手から百番手までは五つづつ進み、百番手以上は十手づつ進む。而して二十番手までを太糸又は太番手といひ、二十二番手から四十二番手までを中糸といひ、それ以上を細糸、細番手と呼ぶ。以上は單糸即ち一子糸の話であるが、二子糸、三子糸等のやう

小學生第一期	四割五分
三十人以上	四割五分
百人以上	五割五分
二百人以上	五割五分
四百人以上	六割
小學生第二期	五割五分
三十人以上	五割五分
百人以上	六割五分
二百人以上	六割五分
四百人以上	七割
其他第一期	二割五分
三十人以上	二割五分
百人以上	三割五分
二百人以上	三割五分
四百人以上	四割
其他第二期	四割
三十人以上	四割五分
百人以上	四割五分

改名するには何うすればよいか

に、何本かの單糸を撚つてある糸の場合には、それを構成してゐる單糸の番手を呼び八十番手二子糸、などといふ。これ等は綿糸の場合であつて、麻糸・毛糸にも番手の言葉を使ふが、その標準は全く異つてゐる。

改名は法律上勝手にすることを許されてゐない。同町内に同姓同名者がゐて都合が生じ易いとか、營業上先代の名を襲がねばならぬとか、高貴のお方と同名で甚だ恐れ多いとか、親のつけた名が餘り異様で生活上差支へるとか、佛門に入つて僧名をつけねばならぬ場合とかに、その理由を附して市町村役場の戸籍吏に届出で許可があつてから十日以内に改めて市町村長にそれを届出でればよい。最近姓名判断といふ一種の占術が流行し、改名すれば吉運に向ふといふ。果してさうか否かは別問題とし、若しさうだからといふ理由で無暗に改名することは出来ない。但し姓名判断屋は、戸籍上の改名までしなくても宜しい、通稱だけがさうなつてしまへば

二百人以上 五割
 四百人以上 六割

貸切車
 客車、車室、自動車を貸切にするには、定員数の大人普通料金の八割を支拂ひさへすれば、人数が八割に満たなくてもよい。人数が八割を越える時は實際人員だけ支拂はねばならぬ。なほ距離は五十軒以上とし、五十軒以内の場合にも五十軒分を支拂はされる。自動車は一車十圓であり、一等車室、一等寢臺車、展望車、病客車等の貸切は他に規定が設けられてゐる。

寢臺車使用料

寢臺列車の一夜一箇使用料は左の通りである。

等級	上段	下段
一等	五圓	七圓
二等	三圓	四圓半
三等	八十錢	一圓半

急行料金
 特別急行と普通急行との相違があり、距離によつて相違する。小兒は四歳まで無料、十二歳まで半額。急行券は五日前に發賣するが五日以内に使用しなければ無効となる。但し特別急行券は日附を明かにし、座席を指定してあるから、その日に使はなければ無効である。料金は次の通り。

効力百パーセントだといふから、その點安心して可なりである。但しどうしても改名したかつたら、一時僧侶となるのが最もよい方便だらう。

人の姓名は何時頃始まつたか

人の呼び名は符牒のやうなもので、他の者とを區別するために、その者の特長を呼んでゐる間に何時しか固有名詞になつてしまふ。手の力が強いから「手力命」とか、産室の屋根が葺けきらないうちにお生れになつたから「鶴茅葺不合尊」とかいふ風に神代の頃からあつたやうであり、下つて近世になつても、名のわからぬやうな者はその生國を呼んだり、來た方角で呼んだりしてゐるうちに何時しか名になつてしまふ。併し姓はこれと大分に違ふ。姓は「かばね」で、株名、頭根、の轉じたものであり、頭根は部落の頭を意味するから、さういふ地方長官や役人に對し、天皇が下し給ふた役名で、これが後世になつて姓となつたものである。例へば大伴宿禰家持、山上臣憶良、大伴連 某などの宿禰、連、臣等はみな官名であり、その家系を臣

の家、連の家などと呼んでゐるうちに姓になつてしまつたものが多い。だから此の意味の姓は人皇第十代崇神天皇の御宇以前からあつた。降つては、藤原・雀部等のやうに、天皇が臣下の功を愛でて姓を賜はるやうになつたものもあり、源・平等のやうに皇胤によるものもある。それが後世になると、藤原の流れを汲むものだから藤山にしよう、藤岡にしよう、藤田、藤川、藤井にしようといふやうになつたり、その土地の豪族だからといふので土地名をそのまま姓にしたりした。従つて姓を名乗り得るものは由緒ある者、役人、武家等に限られ、町人土民にはこのことがなかつた。併し明治三年、士農工商の差別を廢し、一齊に姓を名乗るやうにと規定せられてからは、百姓町人も、或は昔の血統をさぐり、或は地名をとり、或は自分で工夫して今日のやうになつたのである。

花押とは何か

花押とは署名と實印とを兼ねたもので、支那の唐時代に流行し、それが日本へも

▼特別急行(單位圓)

料程	一等	二等	三等
四〇〇	四・〇〇	二・五〇	一・三〇
八〇〇	六・〇〇	四・〇〇	二・〇〇
以上	七・五〇	五・〇〇	二・五〇

▼普通急行(單位圓)

料程	一等	二等	三等
四〇〇	二・〇〇	一・三〇	〇・六五
八〇〇	三・〇〇	二・〇〇	一・〇〇
以上	三・五五	二・五〇	一・三五

乗越料金

乗越料金は、乗車中車掌に申告して支拂つてもよく下車驛で支拂つてもよいが料金は、切符の終點から乗越驛までの切符を新しく買った場合と同じで、乗車驛からの全料程を通算したものである。

のではない。
乗換料金
 下級車から上級車に乗換へる場合には車掌に申告してから乗換へ、一定の料金を支拂ふ。

運賃拂戻し

乗車券、急行券、寢臺券等で使用せず不用になつたものは請求により拂戻す。但し一定の手数料を差引かれる。又急行列車が一定の時間以上延着した場合には急行料金を拂戻す。

乗車券通行期間

片道二百料以内 二日
 二百一料以上二百料迄を増す毎に 一日

然かも知れない。

落款の捺し方

落款とは「落成款識」といふ言葉を略したもので、書畫などが落成した時、これに落款したぞといふ印のために款と識とを捺するのである。款も識も共に印判ではあるが、款は字を白抜きにした印判、識は字を彫上げた印判で、款は陰、識は陽。故にその配置も陰陽の配置に従ひ、款は上、識は下に捺さねばならぬ。款識に刻まれる字は、實名でも雅號でも、何か別の好きな文句でも官位でも何でもよく、捺す場所は、大抵は姓名或は雅號を署名した下だが、署名せずに款識を捺しただけでもよい。

家の紋章の起源

家紋は東西共にあり、血統の正しさを表はす印の一つとして尊重されてゐるが、その起源は、武人が戰場に臨んで敵味方の目印となるべき旗印や馬印、鎧や兜の印

傳來して一般上流階級、武士階級に用ひられた。初めは花押のみで署名と實印を兼ねたが、その後これが實印だけの意味に用ひられるやうになり、官姓名を書いた下へ花押を書き添へることになつた。今日も亦そのやうにして用ひられてゐる。花押のことを「書判」といふのもこのためである。併し明治六年十月一日以後は、法律で、花押を認めず實印を以て本人の意志を代表するものとしたので、花押は一般的には用ひられなくなつたが、今日もなほ書畫や手紙等の署名には用ひる人がある。花押を書くには二つの方法があり、一つは二合といつて、名前の二字を一つに崩して書くものであり、他は二字中の上の一字は普通に書き、下の一字だけを崩したものである。昔は後者が多かつたが、近世以後は専ら前者となつてしまつた。一體自分の意志を代表せしめるのに實印を使ふといふことは、我國だけの話で、諸外國ではみな自ら署名するのであるが、これは各自で自由に崩し、獨特の味はひを持たせるので、丁度「書判」同様である。我國が折角の花押の習慣を實印に改めたのは、無教育者が多かつたからだらうが、今日になつてみれば、花押に歸つた方が寧ろ自

往復の場合に片道の二倍
廻遊は各券毎に片道乗車
券の例によつて計算し、
これを通算した日数

赤帽料金

荷物一個につき 五錢
小さくても一個は一個分
支拂はねばならぬ。

通行税

通行税は乗車船運賃のほ
かに料程により定額を支拂
ふべきもので、三等に限り
五十料未満は不用である。
但し定期乗車券の場合は支
拂ふ。鐵道、航路、自動車
等を取りつぐ場合には、全
料程を通算する。通行税計

としたことに始まり、西洋でも兜や楯の目印としたものが、何時の間にか家紋となつたのである。その目印は、初めは自分の好きな形や動植物や、武勳を表はす劔や扇などを勝手に書きつけたものだらうが、それが次第に形式化され、模様化されたものである。又、公卿などの家紋は、初めは衣服の裝飾模様としたものが何時の程にか家紋となつた。一旦家紋が出来てからは家紋を非常に尊重し、同じ家紋を付けてその血統を誇つたり、恩賞として家紋を興へたり、中には由緒正しい家紋欲しさに政略結婚をしたりする者さへ出来、家紋は遂に儀禮化し、人格化し、家紋を侮辱する者は本人を侮辱したと同様に取扱はれた。

有卦に入るとは何の意味か

陰陽師は天地を木火土金水の五性に分け、人にもまたこの五性があるといふ。その上人の運には、胎・養・長・沐・冠・臨・帝・衰・病・死・墓・絶の十二種があり、上の七つは吉運にして有卦、下の五つは凶運にして無卦。故に人はもし吉運を

算で錢未滿の出た場合には切捨てる。往復又は廻遊の場合は、片道又は一乗車船區間毎に計算する。上級車に乗換へた場合には更に別に支拂はねばならぬ。省線と私鐵又は他の私鐵同士に連絡して乗りついだ場合には、全料程を通算して計算する。

普通税額(單位錢)

料程	一等	二等	三等
五十料迄	六	三	〇
五十料上	一〇	五	二
百料	三〇	一五	一〇
百五十料	六〇	三〇	二〇
二百料	一〇〇	六〇	三〇
三百料	一六〇	九〇	五〇
五百料	二六〇	一五〇	九〇

得れば七年間はそれが續き、八年目から五年間は凶運となるが、再び吉運は巡つて有卦に入るといふ。そして、これを五性に分ち、木性の人には酉年から有卦に入り辰年から無卦、火性の人には子年から有卦に入り未年から無卦、土性と水性の人は午年から有卦に入り丑年から無卦、金性の人には卯年から有卦に入り戌年から無卦に入るといふ。このやうにして有卦に入つた人は七年間連續幸運となるのであるから嬉し
いわけで、これが轉じて嬉しい事續き、幸運續きの人を「有卦に入る」といふのであるが、この吉凶循環還説が景氣の十年循環還説と一脈通じてゐることは面白い。

「石の上にも三年」とは何の意味か

石の上にも三年間も坐つてゐれば冷たい石も温かくなる、人間は辛棒が肝腎だ、といふ教訓に用ひられてゐるが、又別に、石女でも三年間は連添へ、といふ誠めをも含んでゐる。石とは石女のことである。昔の道徳では「女大學」を初めとして、「三年添つて子なきは去る」と云はれてゐた。結婚は子孫を絶やさぬための手段だと

八百粒	二四〇	二〇〇	四〇
定期乗車券税額	普通の	五倍	
一ヶ月	普通の	十倍	
三ヶ月	普通の	二十倍	
半年	普通の	三十倍	
一年	普通の	五十倍	
團體乗車券税額	普通の	五倍	
百人以下	普通の	十倍	
二百人以上	普通の	二十倍	
同數乗車券税額	普通の	五倍	
貸切車税額	運賃の	五%	
三等	運賃の	五%	
二等	運賃の	五%	
一等	運賃の	五%	
手荷物無賃運送	運賃の	十%	

考へられてゐた當時であるから、三年添つても子供を生まない女は離縁せよ、だが、三年だけは辛棒して待つてやれといふのであるが、今日のやうに結婚觀の變つて來た時代では猶甚だ辛棒の足りない慘酷な言葉である。

日の下開山とは何の意味か

「日の下」は「天下」の意、「開山」は「開祖」の意で、天下第一人者、國中第一、斯界第一、天下無敵といふ意味になる。従つて斯道の第一人者であれば何業の人に對しても使つてよい譯であるが、美人や俳優を日の下開山と呼ぶのはそくはない。この言葉は如何にも強さうで、相撲に打つてつけである所から、今では相撲道の第一人者、即ち横綱の代名詞のやうになつた。

マダムとミセスとはどう違ふか

どちらも人妻といふ意味ではあるが、マダムは召使や身分の下の者が上の人に對

手荷物は左記重量までは無賃で運送する、但し小兒はこの半量まで。
 一等……六十疋まで
 二等……四十疋まで
 三等……三十疋まで
手荷物運賃
 無賃運送重量を越えた場合には次に示す小荷物の運賃により超過重量だけを支持ふ。但し手荷物が二個以上の場合には全部を通算する。
手荷物の配達
 手荷物は停車場のある市街または停車場より二料以内の土地に限り、左記の料金で配達する。

して呼ぶ場合であり、日本語にすれば「奥さま」「令夫人」「御令閨」であるが、ミセスは、友人間又は目下の者の妻君を呼ぶ場合で「妻君」「夫人」である。併しマダムは口で呼ぶ場合に用ひるものであり、手紙などにはミセスを使ふ。我國で飲食店の女給などが女將のことをマダムと呼ぶのは、人妻であるなしに拘らず、「女主人」の意味に用ひるので、勿論正しい用語ではない。

「雪は豊年の貢」とは何故か

多年の經驗が實證となつてゐる上に、雪は清淨であり、如何にも豊年といふ心持にも相應しいからである。今日の科學的研究によつても正に豊年の貢である。雪は結晶する時、多量の空中窒素を取り入れるから、これが地中に滲込めば、たゞの雨水よりも肥料的效果が多いし、雪の冷たさは地上や地下の害虫の卵や蛹を殺し、雪の重みは土を締め、作物の根元を締めて作物を霜害から救ふ。又、雨水は流れ去る量が多いが、雪は徐々に溶けるから地下に滲み込む量が多く、水源を豊にし旱魃を防

荷物一個毎に 十銭

手荷物保管料

手荷物が着驛に到着したら、その日と翌日までは無料で保管するが、それを越えると、一日ごとに一個につき十五銭の保管料を支拂はねばならぬ。

携帯品一時預け

携帯品を停車場に一時預けた場合には、普通の物は一個一日に付十銭、自転車、乳母車等は一個一日につき三十銭。但し預けた日から十一日を越えると二倍の料金を取られる。危険物、あまり重い物、あまり重い物、不潔なもの、

ぐ。確かに雪は豊年の貢である。

七福神はどんな福を表すか

「仁王經」に「七難即滅七福則生」といふ詞がある。天海僧正は徳川家康にこの詞を教へ、七福とは、壽命・有福・人望・清廉・愛敬・威光・大量だと云つた。家康大いに悦び、畫家狩野某をしてこれを表象する繪を描かしたのが七福神の始めだと云ふが餘り信用出来ない。七福神は、恵比須・大黒・毘沙門・辨天・布袋・福祿壽・壽老人の七人となつてゐるが、これ等の七人は既に經文の中にもあり、他にも描かれてゐた神である。七人の顔觸も時代によつて相違し、福祿壽の代りに吉祥天を入れたり、壽老人の代りに狸々を入れたものもある。今日のやうに決定したのは恐らく天明以後のことだらう。大内青巖氏の説によれば恵比須は清廉、大黒は有福、毘沙門は威光、辨天は愛敬、布袋は大量、福祿壽は人望、壽老人は長壽を表象するといふ。

荷造のしてない物、他を汚損する物、臭い物、腐敗し易い物、貴重品、動物、死體、大きな車類は預かつてくれない。

なほ、右のやうな物は手荷物に託送することも出来ない。

手廻品の持込

危険物、死體、動物、不潔悪臭の物、座席や通路の妨げとなる物等は、車内に持込むことは出来ない。但し貸切車に限り係員の承諾を得れば持込んでよい。

小荷物に出来ぬ品

1、一個の長さ三米、容積一立方米、重量百斤を越ゆ

十二ヶ月の異名

- 一月 睦月・初春月・端月・子日月・霞初月・初空月・太郎月・初花月・暮新月
- 二月 如月・梅見月・梅月・雪消月・早緑月・衣更月・小草生月
- 三月 彌生・花見月・櫻月・春惜月
- 四月 卯月・夏初月・卯花月・得鳥羽月
- 五月 皐月・さくも月・田草月・早月・橘月・早苗月・月不見月
- 六月 水無月・風待月・常夏月・鳴神月
- 七月 文月・秋初月・七夕月・相月・女郎花月・文披月
- 八月 葉月・秋風月・雁去月・月見月・落葉月・桂月
- 九月 長月・菊月・木染月・いろどる月・寢覺月・小田刈月・紅葉月・梢の秋
- 十月 神無月・小春・神去月・初霜月・時雨月・神有月(出雲地方に限り)
- 十一月 霜月・神歸月・子月・雪待月・霜降月・雪見月・神樂月・鴨月

るもの。但し屍體、車輛及鐵道省指定の犬箱に入れた犬を除く。2、危險物。3、牧草。4、惡臭不潔の物。5、他の品を汚損する物。6、荷造り不完全の物。以上の物は小荷物とすることが出来ぬ。

普通小荷物運賃(單位錢)

重量	80斤	240斤	400斤	800斤	以上は斤毎増す
一 斤	一五	一五	一五	一五	五
二 斤	三〇	三〇	三〇	三〇	一〇
四 斤	五五	五五	五五	五五	二〇
六 斤	七五	七五	七五	七五	三〇
九 斤	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	四〇
十二斤	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	五〇

十二月——師走・極月・弟月・春待月・梅初月・三多月・年よむ月

十人扶持とは幾らか

徳川時代の武士の俸給は何石とか何人扶持とか云ひ、總て金錢でなく米で與へたものである。一人扶持といふのは、一人一日の食料を玄米で五合と見積り、一ヶ月に一斗五升、一年に一石八斗とした。中には一人一日の食料を四合或は二合半と見積つた小食の城主もあつた。五人扶持といへば五人前、十人扶持といへば十人前の食料を貰ふのである。併し扶持の中には子々孫々まで貰ふ世祿と、役柄に附随して貰ふのがある。作事奉行五十人扶持、鷹匠頭二十扶持などいふのは、その役目にある間、世祿の扶持以外に貰ふのである。扶持米は初めは毎月一回貰ふのが例であつたが、後には半年に一度、或は一年に四度となり、猶後世にはこれを米で渡さず金に替へて渡すやうになつた。即ち城主は御用商人にまとめて米を賣拂ひ、金を扶持米相等に與へたが、米のない時、足りない時は商人に借金した。これが武家衰

亡の原因となつた。

「三國一の富士」とは何の意味か

三國とは日本、唐(支那)天竺(印度)の三ヶ國のことであるが、これはハツキリと三ヶ國を指したのではなく、全世界といふ意味である。昔の人は世界にはこの三つの國しかないと考へてゐたから。故に三國一の富士・三國一の花嫁などといへば世界一のことであり、三國傳來の古狐といへば世界を股にかけて來た古狐の意味である。

二業地と三業地の相違

花柳街は一定の區劃に限り營業を許されるが、藝者屋と料理屋のみの所を二業地といひ、これに待合を加へた所を三業地といふ。二業組合、三業組合などいふのも同様の意味である。

以上六斤増す 一〇三〇三 四〇二〇

特殊小荷物運賃

貴重品は右の二倍。

牛乳、魚介、生野菜、生卵等の食料品は、右より約十錢がた高くなる。

動物は鐵道省指定の犬箱により、一頭につき五十斤まで七十五錢、それ以上は五十斤を増す毎に十五錢。但し學術研究用動物、初生雛、食用蛙、食用蜂、蚯、龜等は普通小荷物と同額。

屍體は、一體一斤につき二十五錢であるが最低運賃八圓。學術研究用、犯罪捜査用のものは一斤十五錢、

最低五圓である。

車輛類は、自轉車、乳母車、乳母橋は一輛一軒につき二錢、最低運賃六十錢。但し容積が一・五立方米を超える時は二倍の運賃。

小荷物の配達

小荷物は、驛のある市街内又は驛より六軒以内の土地へは無料で配達する。但し荷送人の請求により驛どもにする事も出来る。

小荷物の保管

驛ども小荷物は到着驛で荷受人へ到着通知を出し、その日共二日間内は無料保管するが、それを超えた時は、貴重品、家具、容器類

一富士二鷹三茄子の夢は何故よいか

昔から富士と鷹と茄子との夢を一度に見ると幸運が廻つて来るといはれてゐる。何故といふ理由はない。三つとも全く聯絡のないもので、この三つを同時に夢に見ることは恐らく無からう。その滅多に見ない夢を見たとすれば縁起がよいと喜んでよいわけである。併し此の三つを選んだのは、聯絡がなさすぎるからではなく、實は駿河名物の諺をそのまま持つて来たにすぎない。駿河には「一富士・二鷹・三茄子・四扇・五煙草・六座頭」といふ諺がある。富士山を自慢するのは當然。鷹は富士に次ぐ第二の名山愛鷹山のことを土地の人はタカ山を呼んでゐる所から出たともいひ、また一説には、裾野の鷹狩をさしたともいふ。茄子は土地自慢の美味。扇、煙草も昔は駿河を第一とし、盲目の按摩は、どういふものか駿河に多かつたといふ。要するに徳川時代となつてから、將軍様自身のわしが國さ自慢を初夢と結びつけたものである。

相性は果して有るか

陰陽師は天地は木火土金水の五性で成り、人間もそれに支配されてゐるから、火と水は反撥し合ふやうに、火と金・金と木・木と土・土と水は合はないが、木と火・火と土・土と金・金と水・水と木は仲がよいといふ。大變なこじつけで、土と金は合ふにしても、金は水に沈むし、木と火では焼けてしまふし、水に木では流されてしまふだらう。それよりは土と木の方が相寄り相助けてをり、土と水も仲がよくなくはならぬ筈。要するに陰陽師の云ふ相性は當にならぬ。併し五性を離れた實際的性格には相性があるやうである。趣味や好みは同じなのはまだよいが、性格は餘り同じでない方がよい。肥えた男は瘦せた女を好み、大女は却つて小男を愛するやうに、氣の長い者は短い相手を、沈鬱な人は快活な相手を、愚圖の亭主には働きの者の女房をと配合した方が夫婦仲は圓滿のやうである。同じ性格は反撥し合つて喧嘩が絶えないだらう。

は一個につき一日二十錢、動物、車輛などは三十錢、貸切扱小荷物は一疋につき一日一圓、その他は一日十錢の保管料を支拂はねばならぬ。

貨物

宅扱 宅扱は少量貨物の急送に便利で、驛から六軒以内は無料で集配してくれる、運賃も安い。但し貴重品に限り五割、十割、二十割の割増がある。運賃先拂ひにすることも出来る。小口扱 宅扱と大差ないが貨物を一級から六級までに分け、各賃率を異にする。

詳細は係に聞くがよい。
貸切扱 貨車一車を貸切る
 ので、大量の貨物輸送に適
 する。
越扱 小口扱と貸切扱の
 中間を行くもので、二越以
 上とまつた貨物の運送に
 適し、運賃も小口扱よりも
 一級安くなつてゐる。
貨物の運賃
 貨物の等級、數量、扱種
 別、料程により異り、一口
 には云へないが、最低運賃
 は、宅扱、小口扱で二十錢、
 貸切扱で四圓、越扱で一越
 一圓となつてゐる。但し火
 薬類や特種貴重品は、すつ
 と高い。

厄年には必ず災厄があるか

昔から男は二十五、四十二、女は十九、三十三を厄年とし、その年又はその前後には必ず禍があるものと信じられてゐるが、これは全く迷信だ。何故なら、十九は「重苦」、三十三は「慘々」、四十二は「死に」に通じるからといふ理由では嗤ふべき語呂合せにすぎないからだ。併し事實上その頃に種々な災厄に會ひ易いといふのは、人間の肉體は七年目毎に大變化を來し、その頃は肉體的にも精神的にも危険期であり、前述の年齢は大體それに近い上に、十九と二十五は男女共結婚適期を前にし、三十三と四十二は結婚倦怠期であり漸く老境に入らうとする者の焦燥のため非常に精神的動搖を來して禍を招き易い。故にこれを迷信的に信ぜず科學的に信じて、精神的に乘切らるるならば災厄は決して訪れないだらう。

丙午の女は禍するか

度量衡換算表

米を尺と尋に	尺	尋
一	三・三	〇・五四七
二	六・六	一・〇九四
三	九・九	一・六四〇
四	一三・二	二・一八七
五	一六・五	二・七三四
六	一九・八	三・二八一
七	二三・二	三・八二八
八	二六・四	四・三七四
九	二九・七	四・九二一
尋を尺と米に	尺	米
一	六・〇三五	一・八二九
二	一二・〇七一	二・七五八
三	一八・一〇三	三・六八六

丙午の女は夫を喰殺すと云つて昔から結婚を嫌はれ、今日もなほ信ずる者が多く丙午の女で不遇に泣く人が多し。丙午とは十干十二支の組合せで六十年目に一度巡つて來るものであり、丙は「火の兄」で、此の年に生れた者は火に油をそぐ激しい性質を持ち、午は「馬」で、人を蹴飛ばし喰殺す性質があるから、これが二つ重なれば大變だといふのである。昔から牛は鈍重で、蛇は執念深く、犬は氣短かで、虎は氣が荒いなどといふが、それは悉くコジツケで、人の性質を冷靜に觀察すれば根もない迷信である事が判らう。その證據に、世間には豚の如く、狐の如く、猫の如き性質の者があるが、十二支にはこれがないのも可怪しいし、虎は馬より恐しい筈なのに「丙寅」を問題にしないのも妙である。勿論丙午の者の中には、勝氣な女、夫を喰殺した女もあらうが、戊未の女でも夫を殺した者があるに相違なく、壬辰の人が雲を呼んで昇天した話も聞かない。よしんば事實上丙午の女が勝氣でなくても、婚期を失つて獨立を餘儀なくされれば、自然に勝氣たらざるを得なくなるだらう。馬鹿々々しくも亦氣の毒なことである。

九	八	七	六	五	四	三	二	一	種	纏を寸と時に	寸	時
二四・二三九	三〇・一七五	三六・二二〇	四二・二四六	四八・二七九	五四・三二四	〇・三三	〇・六六	〇・九九	一・三三	一・六五	一・九八	二・三一
七・三二五	九・一四四	一〇・九七三	一二・八〇二	一四・六三〇	一六・四五九	〇・三九三七	〇・七六七四	一・一八八一	一・五七四八	一・九六八五	二・三六三三	二・七五五九
											三・一四九六	三・五四三三

十干十二支は何の意味か

十干十二支は支那の大撓といふ人が北斗七星の運行状態を見て作つたものといはれる獨特の九星曆法である。十は天の數、干は幹なり木の幹なり。十二は地の數。支は枝なり木の枝なりといひ、十干は天を象り、十二支は地を象る。故に十干は陽十二支は陰で、天地陰陽相合して一なることは恰も幹と枝と相合して木となるが如しといふ。十干は、甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸で、そのうち上の五つは陽中の陽、下の五つは陽中の陰を表はす。十二支は、子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥で、上の六つは陰中の陽、下の六つは陰中の陰を表はす。そこでこれを一つづゝ組合せ、甲子、乙丑……と順に組合せて行くと六十組が出來、六十一年目に元に還る。九星曆が還るから還曆で、六十一年を還曆と云つて祝ふのはこゝから出てゐる。更に十干を春夏秋冬の各土用に當て、十二支を十二ヶ月に配して行くと、天地自然、森羅萬象悉くその姿をこれで説明出來る。例へば

五	四	三	二	一	新	料を里と哩に	九	八	七	六	五	四	三	二	一	寸	寸を吋と纏に	吋	纏
一・二七三	一・〇一八五	〇・七六三八	〇・五〇九二	〇・二五四六	里	〇・六二二三	一〇・七七七	九・五四四	八・三五一	七・一五八	五・九六五	四・七七三	三・五七九	二・三八六	一・一九三	時	三・〇三〇	六・〇六〇	九・〇九〇
三・一〇六八	二・四八五四	一・八六四一	一・二四二七	〇・六二二三	哩	二七・二七三	二四・二四二	二一・二二二	一八・一八一	一五・一五一	一二・一一一	九・〇九〇	六・〇六〇	三・〇三〇	〇・三〇〇	纏	二七・二七三	二四・二四二	二一・二二二

甲は鎧である。地中に種子ありて鎧を着、未だ發せざるの形、故に旅行・出陣・縁談を忌むべし。子は子なり子の初めて生れ出づる形、故に甲子を組合せれば、萌え出でんとする用意おさ／＼怠りない形となる。また丙は草木の發生して枝葉盛になり、火おのづから燃えるの形で初夏に當り、午は長く大なりで、萬物悉く繁り、五月に配される。そこでこの二つが合すると、餘り勢が盛だから、男はよいが、女は夫を喰殺す等といふ。故に十干十二支が九星曆法に止まつてゐる間はよいが、これを運命判断にまで延長すると、大分こじつけになつて來るが、頭腦の單純な時代に、この支那式の大袈裟な表現が、こんな結果を生んだのであらう。

「まじなひ」は果して效くか

「まじなひ」にも種々あり、病氣に關するもの、災難に關するもの、天候に關するもの、農作物その他職業に關するもの、人を呪ふもの等數限りなくあり、勿論馬鹿々々しくて話にならぬものも多いが、科學的に觀て確かに効果のあるものも少くない

一	里	二・四四〇	三・九二七
二	里	四・八八〇	七・八五四
三	里	七・三二〇	一一・七八一
四	里	九・七六一	一五・七〇九
五	里	一二・二〇一	一九・六三六
六	里	一四・六四一	二三・五六三
七	里	一七・〇八二	二七・四九〇
八	里	一九・五二三	三一・四一八
九	里	二一・九六二	三五・三四五
一	平方米を平方尺と坪に	平方尺	坪
一	平方尺	一〇・八九	〇・三〇二五

い。昔は人智が進まなかつたから科學的研究をせず、たゞ當時の人の常識として妙に思へる方法で効果のあつたものを經驗によつて發見すると、これが何時しか「まじなひ」となつた事が多かつた。故にそれ等を科學的に研究すれば効果的なものもかなりあることだらう。効果があるか無いか知らぬが、幾分はありさうに思へるもの幾つかを擧げておかう。

田蟲——田蟲の出來た所へ、濃い墨で鳴といふ字を三つ書いてから、その上を眞黒に塗る。

疣——蜘蛛の巢を取り、疣にまきつけておく。

風邪——椎茸または鰯を火にくべ、その烟を嗅ぐか、梅干か蜜柑を炭火で焼き、毎夜寝る前に二個づつ食べる。

凍傷——唐辛の粉を紙か布の袋に包み、足袋、手袋の中へ入れておけば凍傷にならぬ。凍傷が出來て崩れさうになつたら、串柿を黒焼にし、飯で練り、紙にのぼして貼る。

一	平方尺	〇・二七七	〇・〇九一八
二	平方尺	〇・〇五五五	〇・一八三六
三	平方尺	〇・〇八三三	〇・二七五四
四	平方尺	〇・一一一一	〇・三六七二
五	平方尺	〇・一三八八	〇・四五九〇
六	平方尺	〇・二六六六	〇・五五〇八
七	平方尺	〇・三五四四	〇・六四二六
八	平方尺	〇・四四二二	〇・七三四五
九	平方尺	〇・五三〇〇	〇・八二六三
一	平方尺を坪と平方米に	坪	平方米
一	坪	一〇・二七七	〇・〇九一八
二	坪	〇・〇五五五	〇・一八三六
三	坪	〇・〇八三三	〇・二七五四
四	坪	〇・一一一一	〇・三六七二
五	坪	〇・一三八八	〇・四五九〇
六	坪	〇・二六六六	〇・五五〇八
七	坪	〇・三五四四	〇・六四二六
八	坪	〇・四四二二	〇・七三四五
九	坪	〇・五三〇〇	〇・八二六三

痔疾——田螺を焼いて粉にし、白粉と水少々で練つて貼る。又は鶏卵の黄味を焼いて油をとり、これをつける。又ナメクジの生きたのを肛門に入れても食べてもよいといはれてゐる。

乳——乳の出ぬ人は蜂の巢を黒焼にし、甘酒で三四回飲め。

蚤——蚤が出て困る時は胡瓜の葉を蒲團の下へ敷くがよい。

烟——烟にむせた時は大根を切つて口へふくむか、おろし大根を屑に塗る。窒息した時はおろし大根の汁を飲ませる。

眼中の異物——眼に物が入つてゴロ／＼してゐる時は箸を鼻先にさしつけ、これをヂツと見つめる。

船よひ——船や車に酔ふ癖のある人は紙捻を鼻孔に入れてクシヤミを三つしてか

ら乗るがよい。それでも酔さうなら下腹に力を入れてゐると酔はぬこと妙である。暑中の飯——夏期御飯の腐らぬやうにするには、水に南天の葉をひたしおき、この汲みおきの水で米をとぎ、焚き上つてから南天の葉をのせておく。

九	〇・二五〇〇	〇・八二六四
平方料を方里と平方哩に	方里	平方哩
一	〇・〇六四八	〇・三六六一
二	〇・一三九六	〇・七三二二
三	〇・二一四五	一・一〇八三
四	〇・二九九三	一・五四四四
五	〇・三三二二	一・九三〇五
六	〇・三六九〇	二・三二六六
七	〇・四〇五八	二・七〇二七
八	〇・四四二七	三・〇八八八
九	〇・四七九五	三・四七四九
方里を平方哩と平方料に	平方哩	平方料
一	五・九五五	一五・四二
二	一・一九一〇	三〇・八四
三	一七・八二五	四六・二七
四	三三・八二〇	六一・六九

「九字を切る」とは何の事か

九字を切るとは「臨兵闘者皆陣列在前」の九字を唱へ、一字を唱へる毎に印を結んで縦横に切ることで、眞言密家の祕事とし、加持祈禱をする時にこれを結ぶ。やり方は口傳で、濫りに人に教へないが「曩莫三曼多囉日羅赦戰摩訶盧灑拏娑頗吒耶……」などといふ呪文を唱へながら、兩掌を合せたり指を組んだり、掌の背を合せたり、所謂「印」を結び、「惡魔降伏怨敵退散七難速滅七福速生祕」と云ひ「臨！」と一字を唱へ、右の中指と拇指とを出してピンと鳴らしながら縦に切り降す。次に又呪文を唱へ、印を結び、「兵！」と唱へて横に切り拂ふ。かうして呪文を唱へ、印を結び、九字を一字一字唱へながら縦横交互に切り、以て病魔や心の魔を退散させようといふ呪法である。

狐や狸や死靈は人に憑くか

昔から狐や狸が人に憑くといふ。今日でも地方へ行くと、固くこれを信じてをりまた、そのやうな病人を多く見かけることがある。併しこれは決して狐や狸が人間に憑くのではなく、それらしい病状を呈する一種の精神病にすぎない。また死靈や生靈がついて人間や一家を悩ますといふのも同様の精神病である。狐憑きの人は狐のやうにキョト／＼したり、油揚を好んだりするし、蛇憑きの人は蛇のやうに地面を這つて歩き、如何にもそれらが憑いたやうに見える。ところが此の憑き物を全国的に調べて見ると、狐の憑く地方、狸の憑く地方、犬の憑く地方、蛇の憑く地方などといふ風に、地方々々によつて憑き物がちがひ、蛇の憑く地方で狐憑きを見ることはなく、犬神の憑く地方で蛇のついたためしはない。これは、昔の人なら、その地方に悪性の狐や蛇や犬神があるからだといふかも知れぬが、実際にはさうではなく、人間が傳説の暗示にかゝるからである。病人自身もその暗示にかゝるが、周囲の者も暗示にかゝる。病人がキョト／＼した眼をする。それは精神病患者だから當然のことだ。それを周囲の者が狐のセイにしてしまふ。もしそれが蛇憑きの地方だと

九	二・七七五	七七・二一
八	三五・七三〇	九二・五四
七	四一・六八五	一〇七・九六
六	四七・六四〇	一二三・三六
五	五三・五九五	一三八・八一
方里を貫と封度に	貫	封度
一	〇・二六六六	二・二〇四
二	〇・五三三三	四・四〇九
三	〇・八〇〇〇	六・六二三
四	一・〇六六六	八・八二八
五	一・三三三三	一一・〇三二
六	一・六〇〇〇	一三・二三七
七	一・八六六六	一五・四三三
八	二・一三三三	一七・六三六
九	二・四〇〇〇	一九・八四一

一	封度	八二六七	三二七五〇
二	一六・五三四	七五〇〇	
三	二四・八〇一	二二五〇	
四	三三・〇六九	一五・〇〇〇	
五	四一・三三七	一八・七五〇	
六	四九・六〇四	三三・五〇〇	
七	五七・八七一	二六・二五〇	
八	六六・一三九	三〇・〇〇〇	
九	七四・四〇六	三三・七五〇	
立き升とガロンに			
リットル	升	ガロン	
一	〇・五五四三	〇・二六四一	
二	一・一〇八七	〇・五三三三	
三	一・六六三〇	〇・七九三五	
四	二・二一七四	一・〇五六六	
五	二・七七二七	一・三三〇八	
六	三・三二六一	一・五八五〇	

蛇のやうな眼つきだといふ。周囲の者がさういつて騒げば、病人は一層その氣になり、暗示を受けて愈々病状を高めて行く。これが蛇つきの地方に狐憑きがなく、狐憑きの地方に犬神憑きがでない理由である。と同時に、それは眞に狐や蛇や犬神が憑くのではなく、傳説の暗示にかゝる證據である。死靈や生靈が憑くのも同様な理由である。本人や周囲の者に、氣がゝりな相手があると、その自己暗示によつて病状を高めて行くにすぎない。祈禱師などが此の憑き物を追出すと病氣がなほるのは、追出してやつたぞといふ強い暗示を與へるからで、別に狐が逃出したわけではない。精神病は薬では治らない。病人を悩ます暗示を打消すほどの強い暗示を與へるに限る。この事も狐が憑くのでないことの證明とならう。

精神分析とはどんな事をするか

精神分析學は、オーストリアの心理學者フロイドが創始した學問であつて、人間の潜在意識を明るみへ引出すことによつて、人間の心理作用の一切を知ると共に、

一	三・八八〇四	一・八四九二
二	四・四三四八	二・二一三三
三	四・九八九一	二・三七七五
升をガロンと立に		
ガロン		立
一	〇・四七六五	一・八〇三
二	〇・九五三〇	三・六〇七
三	一・四二九六	五・四一一
四	一・九〇六一	七・二二五
五	二・三八二七	九・〇一九
六	二・八五九二	一〇・八三三
七	三・三三三七	一二・六二七
八	三・八二二三	一四・四二一
九	四・二八八八	一六・二三五
立方寸を立方寸、立方時に		
立方寸	立方寸	立方時
一	〇・〇三五九	〇・〇六一〇
二	〇・〇七一八	〇・一三三〇

延いては、それによつて病氣を治療したり、犯罪を探知したりする所まで應用せられるやうになつた。我々人間の心理は複雑きはまる働きを有するものであつて、單純に一色か二色に色分け出来るものではない。嬉しい、悲しいといふ氣持にも種々あり、嬉しいのか悲しいのか、自分自身にさへ判然わからない場合がある。また、自分ではかうしよう、かうしたいと思ひながら、何時の間にか心とは反對のことをしてゐたり、自分では平素考へもしない事を言つたり、したりする場合もある。また、何かにおびえたり、何かが大嫌ひであつたり、妙な潔癖があつたりするものも、冷靜に考へると實に馬鹿々々しく、理由のないことでも、自分ではどうにも説明のつかぬ心理が働いて、さうせずにはゐられないことがある。これらはみな潜在意識による。例へば猫が大嫌ひで、猫を見ると怖くて冷汗をかく、といふのは、靜かに考へれば理由のないことだが、本人にはどうにもならないといふ人がある。これは別に鼠の性でもないが、何時か幼い時に猫にひどい目にあつたとか、猫の怪談が何かを聞かされて非常におびえたとかといふことがあり、これが心の奥底深く喰入つてゐる

九	八	七	六	五	四	三	二	一	立方寸	立方寸
一五・二八二	一三・五八四	一一・八八六	一〇・一八八	八・四九〇	六・七九二	五・〇九四	三・三九六	一・六九八	立方寸	立方寸
二五〇・四三	二二三・六一	一九四・七八	一六六・九五	一三九・一三	一一一・三〇	八三・四七	五五・六五	二七・八二	立方寸	立方寸
〇・一八三〇	〇・二四四一	〇・三〇五〇	〇・三六六一	〇・四二七一	〇・四八八一	〇・五四九二	〇・六一〇三	〇・六七一四	立方寸	立方寸

るのである。だからその時の事を思出させ、怖くない理由を言ひきかせると、初めて癖がなほる。その時の事に觸れない限り、どんな理窟をいひきかせても駄目だ。同様に我々には個々で獨特の意識の連鎖がある。鉛筆といへば直ぐ紙を聯想するかナイフを聯想するかは人によつて違ふ。かういふ個々の連鎖を分析して行くと、不思議に狂人の狂つた原因を突きとめたり、犯人を無意識的に自白させたりすることが出来る。そしてフロイドは、かうした根強い潜在意識の大部分は性慾に深い關係を持つと喝破し、狂人や悪癖や二重人格等を治した例を多く持つてゐる。催眠術も精神分析の一つの應用である。このやうに人間の心は複雑微妙で恐しい働きを持つ。だから我々は常に清淨な心を持つやう心がけねばならぬ。

現代常識新辭典終

現代常識新辭典 定價一圓三十錢

不許
複製

編者 愛之事業社編纂部

發行者 加藤三津夫

印刷者 植田庄助

東京市麴町區飯田町

發行所

愛之事業社

振替東京六七二〇四番
電話九段(33)三四四四番

刷印所刷印堂文成

昭和十四年六月五日印刷
昭和十四年六月十日發行

394
44

法ルトーメ

量		積地	度	
一ミリメートル	千分の一米	一センチメートル	一平方分	三厘三毛
一センチメートル	百分の一米	一ヘクタール	一畝〇歩二五〇	三分三厘
一メートル	十分の一米	一ヘクタール	一町二五歩	三寸三分
一キロメートル	十分の一瓦	一ヘクタール	一町二五歩	三寸三分
一センチメートル	百分の一瓦	一ヘクタール	一町二五歩	三寸三分
一メートル	十分の一瓦	一ヘクタール	一町二五歩	三寸三分
一キロメートル	十分の一瓦	一ヘクタール	一町二五歩	三寸三分
一センチメートル	百分の一瓦	一ヘクタール	一町二五歩	三寸三分
一メートル	十分の一瓦	一ヘクタール	一町二五歩	三寸三分
一キロメートル	十分の一瓦	一ヘクタール	一町二五歩	三寸三分

英國度量衡

衡		積地	度	
一ポンド	一六・〇三三〇	一エーカー	四八四〇平方碼	四段二四歩一七二九
一オンス	一・八〇四	一ガロン	八分の一ブッセル	二升五合二〇一四
一トナ	二二・〇四六	一ブッセル	八ガロン	二斗一合六一一
一尺	〇・三〇三〇	一グレイン		一厘七二七九九
一升	一・八〇四	一ポンド	一六・〇三三〇	七匁五五九八七
一貫	三・七五	一オンス	一・八〇四	一二匁九五八〇
一立	〇・五五四三	一トナ	二二・〇四六	二七匁九四五九
一底	〇・二六六六	一ポンド	一六・〇三三〇	二四一貫九一六匁

メートル法比較覚え方

一尺は 〇・三〇三〇 メートル (れて見れ見れ)
 一升は 一・八〇四 リットル (一天晴れよ)
 一貫は 三・七五 キログラム (見てなごう)
 一立は 〇・五五四三 升 (見てみ)
 一底は 〇・二六六六 貫 (まるで午後のよさ)
 (まるる天に六つづき)

表見早算換ルトーメ

衡		量		斗	
一グラム	〇・二六六六七	一リットル	〇・五五四三五升	一ポンド	一六・〇三三〇
一キログラム	二六六六七	一キロリットル	五五四三五石	一オンス	一・八〇四
一トナ	二六六六七	一合	〇・一八〇三九立	一トナ	二二・〇四六
一ヤード	三・〇一七五	一升	一・八〇三九立	一リットル	〇・五五四三五升
一チエーン	一・〇一七五	一石	〇・一八〇三九立	一ポンド	一六・〇三三〇
一呎	〇・八三八一八	一液量オンス	〇・一五七五三合	一オンス	一・八〇四
一町	三・九二七三	一バイント	三・一五〇五合	一トナ	二二・〇四六
一尺	〇・三〇三〇三	一英ガロン	二・五二〇四升	一リットル	〇・五五四三五升
一センチメートル	百分の一米	一ブッセル	〇・二〇一六三石	一ポンド	一六・〇三三〇
一メートル	十分の一米	一トナ	二二・〇四六	一オンス	一・八〇四
一キロメートル	十分の一瓦	一リットル	〇・五五四三五升	一ポンド	一六・〇三三〇
一センチメートル	百分の一瓦	一キロリットル	五五四三五石	一オンス	一・八〇四
一メートル	十分の一米	一合	〇・一八〇三九立	一トナ	二二・〇四六
一キロメートル	十分の一瓦	一升	一・八〇三九立	一リットル	〇・五五四三五升
一センチメートル	百分の一瓦	一石	〇・一八〇三九立	一ポンド	一六・〇三三〇
一メートル	十分の一米	一液量オンス	〇・一五七五三合	一オンス	一・八〇四
一キロメートル	十分の一瓦	一バイント	三・一五〇五合	一トナ	二二・〇四六
一センチメートル	百分の一瓦	一英ガロン	二・五二〇四升	一リットル	〇・五五四三五升
一メートル	十分の一米	一ブッセル	〇・二〇一六三石	一ポンド	一六・〇三三〇
一キロメートル	十分の一瓦	一トナ	二二・〇四六	一オンス	一・八〇四

終